

子育て中のお母さんたちへ
ミモザの下で

2006・秋
創刊号

文・写真 金澤玲子
編集・発行 山田ひろみ
金澤玲子
印刷 山田ひろみ
金澤玲子
事務局 チーム・ミモザ
0467-54-8051
無断転載は、ご遠慮くださ
い。

Contents

- 2・・・移ろいゆく季節のなかで
- 3・・・秋田の小さな街で
- 4・・・こびとのくつや
- 5・・・お菓子の先生・ゼリーの話
- 6・・・アプシュトロイゼルクーヘン
- 7・・・信州長野
- 8・・・きっと巡る
- 9・・・初めてのママ友たちはシェリーさん
- 10・・・謝るということ
- 11・・・なまえで呼ばれること
- 12・・・ピアノのおけいこ
- 13・・・共同購入
- 14・・・夫も羨む?!
- 15・・・木漏れ日のように

移ろいゆく季節の中で

数年前、お友だちに連れて行って頂いたガーデニングのお店で、小さなミモザの木を、買いました。

それが、あっという間に大きくなり、毎年3月になると、見事な黄色い花を咲かせてくれます。ちょうどピアノの発表会の時期と重なり、一生懸命おけいこするお子さんを、窓辺のミモザがそっと包み込んでくれているようです。

昔は、親に祝ってもらった自分の誕生日、今は淡々と過ごしてしまうのに、発表会のころ、ミモザが咲くと季節の移ろいを感じ、光の春の到来に感謝します。

お子さん達の新しい旅立ちの季節でもあり、また新しい出会いの予感もするこの季節、窓辺の景色は、まばゆいばかりです。

「楽しい子育てで頑張っ！」

私が、初めて子どもを産んだとき、プレゼントとともに頂いたカードに書かれてあった先輩ママの言葉です。

実際はそんなに生やさしいものではなく、途中で子どもを抱えて途方に暮れたこともあります。でも、助けてくれたのは、一緒に住んでいる家族、九州で過ごす両親や妹弟達、そして、やはりなんといっても、子育て中のおかあさん仲間や、先輩ママでした。

ご自分の忙しい時間を縫って、一緒にご飯を食べてくださった、ふさぎ込んでいた私たち親子を公園に誘ってくださった、どうしようもなく疲れたとき、子どもを預かって下さった先輩ママさんたちと出会ったころのことを、ミモザが咲くころになると、思い出します。

この冊子は、本当に忙しいなか、家族のために食事を作っている苦いお母さん達の、少しでも応援がしたくて、私が子育て中に出会ったすてきな皆さんとのエピソードとともに、簡単なレシピをお届けしようと、つくったものです。

これまで私がたくさんのかたに助けて頂いたお礼に。